

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成24年12月6日 (2012.12.6)

【公表番号】特表2012-511219(P2012-511219A)
 【公表日】平成24年5月17日 (2012.5.17)
 【年通号数】公開・登録公報2012-019
 【出願番号】特願2011-540740(P2011-540740)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/153 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2011.01)

【F I】

G 0 6 F 3/153 3 3 0 A

H 0 4 N 7/173 6 1 0 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成24年10月22日 (2012.10.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数のプリミティブのバーテックスをプロセッサ (212) によりメモリに記憶するステップ (214 又は 218) と、

前記バーテックスの少なくとも一部分がターミナルサーバクライアント (201) に送信されていないと前記プロセッサ (212) により判定するステップ (226) と、

前記バーテックスの当該判定された部分を前記ターミナルサーバクライアント (201) に前記プロセッサ (212) によりネットワークインターフェース (210) を介して送信するステップ (210) と

を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記バーテックスの少なくとも一部分が前記ターミナルサーバクライアント (201) に送信されていないと判定するステップに先立って、ユーザースペースアプリケーション (206) が所定の範囲より大なる一連のメモリアドレス (218 又は 214) に要求したと前記プロセッサ (212) により判定するステップ (226) をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記バーテックス (228) の前記判定された部分について前記プロセッサ (212) により事前調整を行うステップをさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記バーテックスの前記判定された部分を前記ターミナルサーバクライアント (201) に送信するステップは、前記バーテックス (228) の前記判定された部分において 2 つの連続するバーテックス毎の間に判定されたデルタを前記プロセッサ (212) により送信するステップ (210) をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

オペレーティングシステム (202) によって、ユーザースペースアプリケーション (206) が複数のページを含む前記メモリ (218, 214) にアクセスしたと前記プロセッサ (212) により判定するステップと、

前記オペレーティングシステム（２０２）によって、ユーザースペースアプリケーション（２０６）が前記複数のページの特定のページにアクセスしたと前記プロセッサ（２１２）により判定するステップと

をさらに含むことを特徴とする請求項１に記載の方法。

【請求項６】

前記特定のページを、前記ターミナルサーバクライアント（２０１）に先に送信された前記ページのコピーと前記プロセッサ（２１２）により比較するステップ（２２６）と、

前記比較（２２６）に基づいて、前記特定のページにおける前記バーテックスデータの少なくとも一部分が変化したと前記プロセッサ（２１２）により判定するステップとをさらに含むことを特徴とする請求項５に記載の方法。

【請求項７】

前記特定のページを、前記ターミナルサーバクライアントに先に送信された前記ページの前記コピーと比較するステップは、単一命令マルチデータセットの命令（２１２）からの少なくとも１つの命令を用いて、前記特定のページを前記プロセッサ（２１２）によりスキャンするステップをさらに含むことを特徴とする請求項６に記載の方法。

【請求項８】

前記特定のページをスキャンする前記ステップは、

変化が検知されるまで、前記特定のページの始まりから終わりまで前記プロセッサ（２１２）によりスキャンするステップ（２１２）と、

変化が検知されるまで、前記特定のページの終わりから始まりまで前記プロセッサ（２１２）によりスキャンするステップ（２１２）とをさらに含むことを特徴とする請求項７に記載の方法。

【請求項９】

前記特定のページ（２１２）を用いて、前記ターミナルサーバクライアントに先に送信されたページのコピーに前記プロセッサ（２１２）により上書きするステップをさらに含むことを特徴とする請求項８に記載の方法。

【請求項１０】

前記バーテックスの前記予備調整され且つ判定された部分を前記プロセッサ（２１２）により圧縮するステップ（２４０）をさらに含む請求項３に記載の方法。

【請求項１１】

プロセッサ実行可能命令を含むコンピュータ可読記憶媒体であって、

前記コンピュータ可読記憶媒体は、

各々が少なくとも１つのバーテックスによって定義された複数のプリミティブのバーテックスを記憶する（２１４，２１８）命令と、

フロントコーダ（２３０）に対する移動により前記バーテックスを暗号化する命令と、

当該暗号化されたバーテックスをターミナルサーバクライアント（２０１）に送信する命令と、を含むことを特徴とするコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項１２】

前記暗号化されたバーテックス（２４０）を圧縮する命令をさらに含むことを特徴とする請求項１１に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項１３】

メモリの特定のページにおけるバーテックスを、前記ターミナルサーバクライアント（２２６）に先に送信されたバーテックスと比較する命令と、

前記比較に基づいて、前記特定のページ（２２６）における前記複数のプリミティブの前記バーテックスを特定する命令とをさらに含むことを特徴とする請求項１１に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項１４】

メモリの特定のページにおけるバーテックスを、前記ターミナルサーバクライアントに先に送信されたバーテックスと比較する前記命令は、

バーテックスに対する変化が検知されるまで（２１２）、前記特定のページの始まりか

ら終わりまでスキャンする命令と、

バーテックスに対する変化が検知されるまで（2 1 2）、前記特定のページの終わりから始まりまでスキャンする命令とをさらに含むことを特徴とする請求項 1 2 に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 1 5】

前記特定のページをスキャンする前記命令は、単一命令マルチデータセットの命令（2 1 2）からの少なくとも 1 つの命令を含むことを特徴とする請求項 1 3 に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 1 6】

テクスチャ及びバーテックスを含むグラフィックデータを、メモリに記憶する回路構成（2 1 4、2 1 8）と、

メモリに記憶された前記グラフィックスデータと、ターミナルサーバクライアントに先に送信されたグラフィックスデータとの比較に基づいて、前記メモリにおける前記グラフィックスデータの少なくとも一部分が変化したことを判定する回路構成（2 1 2、2 2 6）と、

変化した前記グラフィックスデータの少なくとも一部分を予備調整する回路構成（2 1 2、2 2 8）と、

変化した前記グラフィックスデータの少なくとも一部分を圧縮する回路構成（2 1 2、2 4 0）と、

変化した前記グラフィックスデータをターミナルサーバクライアント（2 0 1）に送信する回路構成（2 1 0、2 1 2）と

を含むことを特徴とするコンピュータシステム。

【請求項 1 7】

前記変化した前記グラフィックスデータの少なくとも一部分を予備調整する回路構成（2 1 2、2 2 8）は、

フロントエンコーダへの移行を、変化した前記グラフィックスデータの前記一部分における前記バーテックスに適用する回路構成（2 1 2、2 3 0）をさらに含むことを特徴とする請求項 1 6 に記載のコンピュータシステム。

【請求項 1 8】

前記変化した前記グラフィックスデータの少なくとも前記一部分を圧縮する回路構成（2 1 2、2 4 0）は、メッシュコンプレッサー（2 3 6）を適用して、変化した前記グラフィックスデータの前記一部分における前記バーテックスの少なくとも一部を圧縮する回路構成（2 1 2、2 3 6）をさらに含むことを特徴とする請求項 1 6 に記載のコンピュータシステム。

【請求項 1 9】

変化した前記グラフィックスデータの少なくとも前記一部分を圧縮する前記回路構成（2 1 2、2 4 0）は

、イメージコンプレッサ（2 3 2）を、変化した前記グラフィックスデータの前記一部におけるテクスチャデータに対して適用する回路構成（2 1 2、2 3 2）をさらに含むことを特徴とする請求項 1 6 に記載のコンピュータシステム。

【請求項 2 0】

エスケープによって、テキストに対するアプリケーションコントラストを受信する回路構成（2 1 2、2 1 4、2 1 8）と、

前記コンストラクトを前記ターミナルサーバクライアント（2 0 1）に送信する回路構成（2 1 0、2 1 2）とをさらに含む請求項 1 6 に記載のコンピュータシステム。